

震災がれき

# 紀北町受け入れ「困難」

町議会  
市長答弁

処理能力など理由に

る」とも述べた。

尾上町長は、「国の負担は災害廃棄物の処理費用と住民説明会費用で、新規の処理施設に対する国の補助は明示されていない」とし、「町民の合意形成を図る時期にはまだきていない」と述べて、かみ合わなかった。

市長の会見に先立ち、市議会は「復旧・復興を最大限支援するため、市が受け入れを積極的に進めるよう強く求める」との決議を可決した。現地を視察した自治会長連合会も受け入れに賛同している。

市は先月16～17日、山田町のがれき10ントと市内の家庭ごみ56トントを混せて試験焼却。がれきや焼却灰などの放射性セシウム濃度や空気中の放射線量は、国や県、市が設定した基準を下回った。

【北牟婁郡】紀北町議会定例会は十五日、再開し、東日本大震災被災地のがれき受け入れを求める一般質問があった。入江康仁議員が復興支援のための受け入れを求めたが、尾上壽一町長は同町の処理能力と国制度未整備を理由に困難とし、議論はかみ合わなかった。

尾上町長は、同町の廃棄物処理施設は、RDF（廃棄物固形燃料）化方式で、受け入れられるものに限りがあること、県や近隣市町の状況、住民の意見、などを理由に「慎重に対応する必要がある」とした。

入江議員は既設の処理施設ではなく、新たに百トン級の焼却炉を二、三基建設し、港湾設備を使って、大

量に船舶輸送する方式を提案。建設場所も具体的に挙げた。続けて、「真っ先に

手を挙げることで、国の財政支援が受けられ、雇用も発生して地域活性化にな